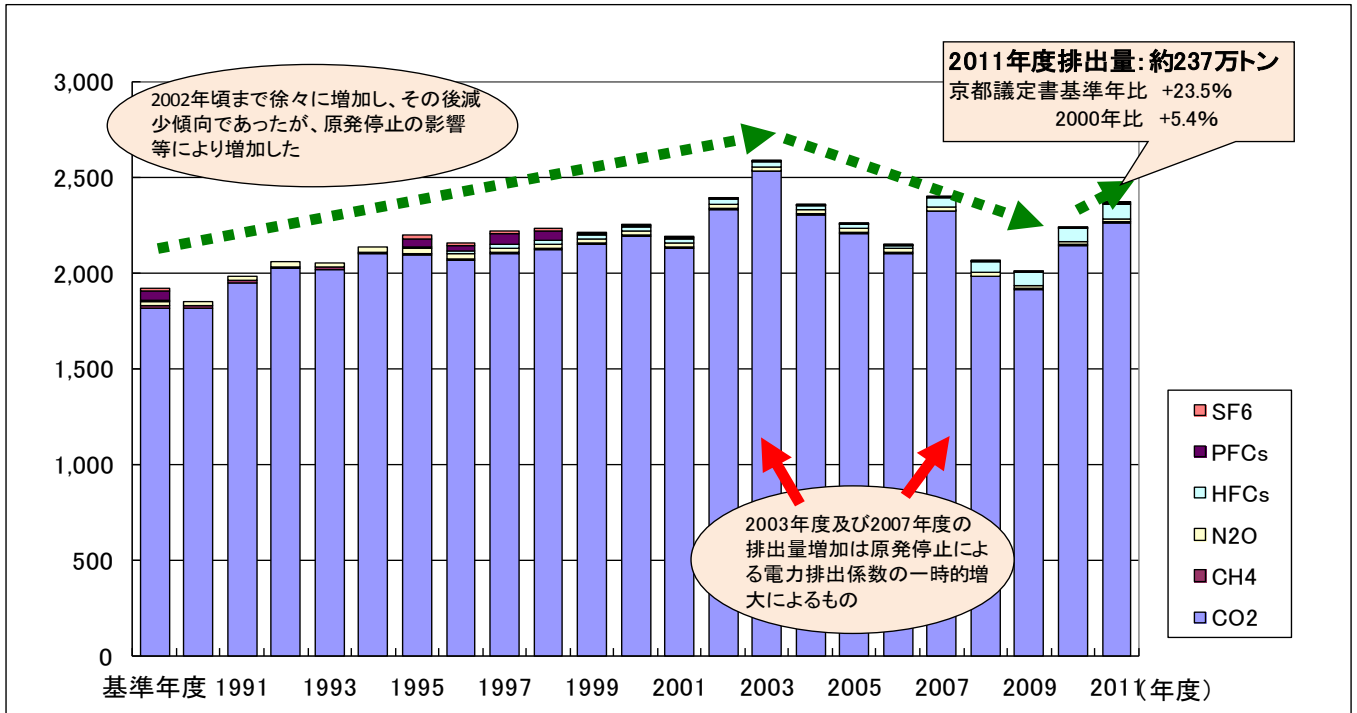


八王子市内の温室効果ガス排出量の推移



※1: 上のグラフでは、各温室効果ガスの排出量を地球温暖化係数を用いてCO2排出量に換算しています。

※2: 単位はCO2の重さとして千トン(千t-CO2)としています。

※3: 2003・2007年度の排出量の一時的な増加は、原子力発電の長期停止により、火力発電における化石燃料の使用が増加したことで、電力の排出係数が大きくなったためです。

※4: 京都議定書では、1990年度のCO2、CH4、N2Oと1995年度のHFCs、PFCs、SF6の排出量を合わせたものを京都議定書基準年排出量としています。

■ 温室効果ガス排出量

(単位: 千t-CO2換算)

		基準年度	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999
二酸化炭素	CO2	1,818	1,818	1,950	2,024	2,020	2,102	2,095	2,068	2,098	2,119	2,146
メタン	CH4	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7	6
一酸化二窒素	N2O	23	23	24	24	24	23	24	24	24	24	24
ハイドロフルオロカーボン類	HFCs	10	0	0	0	0	0	10	14	18	19	18
パーフルオロカーボン類	PFCs	44	0	0	0	0	0	44	31	55	46	10
六ふっ化硫黄	SF6	16	0	0	0	0	0	16	12	18	16	4
計		1,918	1,848	1,981	2,056	2,051	2,132	2,195	2,155	2,220	2,232	2,208

		2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
二酸化炭素	CO2	2,190	2,127	2,332	2,528	2,303	2,206	2,101	2,320	1,979	1,913	2,145	2,262
メタン	CH4	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5
一酸化二窒素	N2O	23	22	22	20	19	18	18	18	18	17	14	13
ハイドロフルオロカーボン類	HFCs	20	21	23	23	22	22	19	50	59	67	71	79
パーフルオロカーボン類	PFCs	6	6	6	5	0	0	0	0	0	0	0	9
六ふっ化硫黄	SF6	3	3	2	2	1	1	1	1	1	1	1	3
計		2,248	2,186	2,390	2,585	2,351	2,252	2,145	2,394	2,062	2,004	2,235	2,370